

## 市長所信表明（令和7年12月）

おはようございます。

本日、令和7年12月吉野川市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

定例会に臨みまして、当面する諸課題への取り組み状況と今後の市政運営に対します所信の一端を申し上げますとともに、提出議案のご説明をさせていただき、議員各位はじめ市民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

### はじめに、国の総合経済対策について申し上げます。

国におきまして、11月21日、物価高の影響を受ける生活者の支援や、中小企業・小規模事業者の賃上げ環境の整備、農林水産業の支援など地方公共団体が地域の实情に合わせて必要な支援をきめ細やかに実施できるよう、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を新型コロナウイルス禍後、最大規模となる「強い経済を実現する総合経済対策」を閣議決定し、今月中に関連する補正予算が成立する見込みとなっております。

本市におきましても、交付金を効果的に活用し、地域のニーズに対応した施策を速やかに実施するべく早期の予算案提出に向けて準備を進めており、市民生活の安定と地域経済の活性化を目指し、市政運営に取り組んで参りますので、議員各位におかれましては、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### それでは、最近の市政の動きについて申し上げます。

#### 映画「道草キッチン」について申し上げます。

昨年、市制20周年及び板野町制70周年記念事業として製作しました映画「道草キッチン」が全国公開に先駆けて、11月7日から「シネマサンシャイン北島」と「イオンシネマ徳島」で上映が始まりました。

公開初日には映画公開を記念して白羽<sup>しら</sup>弥仁<sup>は</sup>監督と主演の中江有里<sup>みつひと</sup>さん、後藤田県知事、私と東根板野町長が出席し県庁で記者会見を行い、翌8日には舞台挨拶を行ったところ、両映画館とも満員御礼となり、多くの方にお越しをいただきました。

また、16日には鴨島駅前周辺で映画PR事業として「道草マルシェ」を開催したところ、映画ファンはもとより多数のベトナム人の方々にもご来場いただき、映画のテーマでもある「多文化共生」に相応しいイベントとなりました。

映画は現在「シネマサンシャイン北島」で上映中で、映画公開に合わせて記念グッズが当たるデジタルスタンプラリーを実施しており、さらに11月22日から東京を皮切りに全国公開も始まっていますので、引き続き多くの方に映画をご覧いただけるようPRを行い、本市の魅力発信に努めて参ります。

次に、「令和8年度当初予算編成」について申し上げます。

我が国の経済は、米国の通商政策による影響が一部見られるものの、緩やかに回復しているとされています。先行きについては、雇用・所得環境の改善が回復を支えることが期待される一方、物価上昇が消費者心理の悪化などを通じて個人消費に影響を及ぼし、景気の下押し要因となるリスクも指摘されています。

政府は『経済あつての財政』を基本とし、『責任ある積極財政』の考えの下、戦略的な財政出動を行うことで『強い経済』を構築するとしております。

本市の財政状況を見ますと、令和6年度決算では経常収支比率が2年連続で悪化するなど、財政の硬直化が進んでいます。また、本市最大のプロジェクトである「新ごみ処理施設」が先月11月に正式稼働した一方で、公共施設の老朽化対策、防災・減災対策、少子化対策などの本市が直面する重要政策課題への的確な対応が必要となって参ります。

令和8年度当初予算編成に向けて、新たなフェーズへ移行し、本市が持続可能な発展を続けるため、国や県の動向も注視しながら、しっかりと編成作業に取り組んで参ります。

次に、鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合に係る準備状況について申し上げます。

まず、統合校の名称について、去る7月7日から31日までの間、鴨島地区の住民の皆様を対象に、鴨島東中学校と鴨島第一中学校の統合後における新しい学校名のアイデアを募集したところ、733

件の応募をいただきました。

いただいたアイデアにつきましては、統合準備委員会に諮り、協議した結果、「鴨島中学校」を新しい学校名の候補として選考のうえ、教育委員会の決定を経て、本定例会に関係条例を提案させていただいております。

また、制服及び体操服につきましても、10月30日から11月21日までの間、メーカーから提案いただいた制服、体操服各2点のデザインの中から、鴨島地区の小学1年生から中学3年生までの児童生徒のご家庭を対象に投票を実施し、新しいデザインを決定したところでございます。

なお、新しい制服は、「ブレザータイプ」を採用したことから、これを機に、ジェンダーレスにも配慮し、スカートとスラックスを自由に選択できるようにいたしました。

新しいデザインの制服及び体操服につきましては、明日（12月2日）から、市役所本館1階ロビーに展示することとしておりますので、是非ご覧いただければと存じます。

また、統合により著しく通学距離が遠くなる生徒に対しての通学支援につきましては、対象となる地域のご家庭を対象に実施した「スクールバスの利用に係る意向調査」を基に、県道徳島鴨島線を経由する「北ルート」と県道西麻植下浦線を経由する「南ルート」の2路線で運行する方針とし、現在、停留所の位置などの詳細について、詰め作業を行っているところでございます。

新しい学校名や制服・体操服の選考など、統合に向けた準備を進めるにつれ、徐々にではありますが、統合校の具体的な姿が見え始め、児童生徒や保護者の方々をはじめ地域の皆様にも、この度の中学校統合に関する意識・関心が高まっております。

今後におきましても、より良い教育環境の実現に向け、児童生徒や保護者、地域の皆様をはじめ関係者の方々に対して、丁寧な説明に努めながら、準備を進めて参ります。

以下、当面の市政運営に関して申し上げます。

## 1点目は、「子育て・教育の満足度向上」についてであります。

「こども居場所フェスタ」について申し上げます。

去る、11月23日、鴨島南児童館において、「こどもの居場所フェスタ」が初めて開催され、当日は100食を超える食事やデザートが提供され様々なブースを通じて「親子の絆づくり」を深める場となりました。

このフェスタは、鴨島町内の子ども食堂を運営する7団体が新たに「鴨島町こどもの居場所ネットワーク」を結成したことによって実現いたしました。

この度の取り組みは「こども食堂」の新たな可能性を広げ、地域の力を結集し、協力体制の強化を図るものであり、本市といたしましても、今後、団体と連携を深めながら、地域課題の解決や子育て環境の改善に取り組んで参ります。

## 2点目は、「暮らし・福祉の満足度向上」についてであります。

「吉野川市地域公共交通計画の策定」について申し上げます。

令和2年11月に施行された「地域公共交通活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」の改正により、原則として全ての地方公共団体に協議会方式等による「地域公共交通計画」の作成が努力義務化されております。

「地域公共交通計画は」、地域の移動ニーズに応じた、利便性が高い持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を図り、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を示す「マスタープラン」であり、本市におきましても、本年4月に委員25名からなる「吉野川市地域公共交通活性化協議会」を設立いたしました。

協議会では、本市の公共交通の現状確認や、市民アンケートによる課題の抽出などを実施し、これまで3回の協議を重ね、地域公共交通計画のための基本方針を「誰もが自由に移動できる環境の確保」「まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築」「持続可能な公共交通の実現」と決定し、現在、素案の策定作業を進めております。

今後は、素案の作成を終え、パブリックコメントの実施を経て、年度内に「吉野川市地域公共交通計画」を策定できるよう、取り組んで参りたいと考えております。

### 3点目は、「移住定住・にぎわい創出の魅力度向上」についてであります。

「Mt.高越ヒルクライム2025」について申し上げます。

去る10月26日、県内外から多くの皆様にご参加いただき、「Mt.高越ヒルクライム2025」が盛況のうちに無事終了することができました。当日はエントリー130名のうち110名が、全長13.2kmにわたる山岳クラスの厳しいコースに挑戦し、熱戦を繰り広げました。

主会場となった吉野川市総合スポーツ運動場では、国土交通省の自転車アンバサダーであり、タレントとしてもご活躍されている稲村亜美さんをお招きし、開会式や表彰式に加え、未就学児向けイベントの「ランニングバイクで遊ぼう！！」を盛り上げていただき、多くの子どもたちが笑顔で楽しむ様子が見られました。

また、吉野川市ブランド認証事業者の皆様からご提供いただいた景品を用いた「じゃんけん大会」に加え、キッチンカーや吉野川青年会議所などによる出店など、選手以外の来場者も楽しめる催しにより、大会は大いに盛り上がりました。

この大会を円滑に運営できたのは、交通規制にご協力いただいた地域の方々をはじめ、徳島中央広域連合や吉野川市商工会など、多くの団体や関係者にご尽力いただいたおかげであります。官民連携により、安全で事故のない大会を実施できたことに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

今後も、自転車を活用し、地域の魅力発信や交流人口の増加に取り組んで参ります。

次に、「各種イベント事業」について申し上げます。

10月24日から11月24日まで市役所イベント広場におきまして、恒例の「鴨島大菊人形・四国菊花品評会」が、11月29日、30日は「美郷梅酒まつり」が美郷地区で開催され、共に多くの方

で賑わいました。

こうした、恒例のイベントに加えて、10月5日には民間主体のイベントとして、鴨島公民館周辺を会場とした「わくわくフリーマーケット」、「かもじまサブカルフェスティバル」、「ポケットパーク音楽祭」など多彩な催しが開催され、多くの方に新たな楽しみをご提供いただきました。

また、本市を拠点に演劇を通じた地域活性化に取り組む演劇プロジェクト団体「演劇ラボ・アンクラウン」が本市のふるさと納税を活用し資金調達を行い、11月8日、9日の2日間にわたり、鴨島公民館で本格的な公演を披露し、地域に新しい文化の風を吹き込んでいただきました。

これらの取り組みが、今後における本市の賑わいの創出や地域の活性化に繋がることを期待するとともに本市としましてもこうした取り組みを積極的に応援して参りたいと考えております。

#### **4点目は、「成長する産業づくりの拡大」についてであります。**

**「ローカル10,000プロジェクト事業（地域経済循環事業交付金）」について申し上げます。**

四国霊場11番札所 藤井寺には多くの方がお遍路に訪れていますが、近年、四国霊場を訪れる外国人歩き遍路が急増し、インバウンド観光への対応や地域とのトラブル解決、効果的な情報発信や各事業者間との連携などが課題となっています。

そこで、このような課題を解決し、インバウンド効果を市内全域に波及を図るため、この度、地域資源を活かした新たなビジネスを立ち上げる民間事業者等を産学金官で支援する、国の「地域経済循環創造事業交付金（ローカル10,000プロジェクト）」を活用し、現在、藤井寺周辺にある遍路案内所「へんろの里」を拠点に活動しています「合同会社 遍路イレブン」に対し、情報発信の拠点や市民の憩い・交流の場を整備する初期投資費用の一部を助成する関連予算を本定例会に提出させていただいております。

本事業の実施により、外国人歩き遍路のサポート強化とインバウンドによる経済効果の活性化を期待しております。

## 5点目は、「安心・安全なまちづくりの拡大」についてであります。

「災害対策本部運営図上訓練」について申し上げます。

政府の地震調査委員会は本年9月26日、南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率を「80%程度」から「60%～90%程度以上」に見直されました。これは新たな知見を反映させた結果であり、今後30年以内に発生する確率は高いと評価されており、依然として大地震発生の可能性と切迫性が高い状態とされています。

このような背景を踏まえ、本市における災害対応力の向上及び関係機関との連携強化を図るため、より多くの関係機関の参加を要請し「災害対策本部運営図上訓練」を来る令和8年1月20日に実施いたします。」

今回は昨年度の訓練結果を踏まえ本部の機能強化や初動対応能力の向上など課題を改善するとともに、新たに作成した「災害応急対策マニュアル」の検証を行い、防災体制の強化を図ります。

この訓練により得た成果を基に、本市の地域防災計画や各種防災マニュアル等に反映し、大規模災害への迅速かつ的確な対応を目指すとともに、災害対応能力の向上に努め、本市の防災体制を一層充実させて参ります。

## 6点目は、「持続可能な地域づくりと市役所の変革」についてであります。

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進における「アナログ規制の見直し」について申し上げます。

市民の皆様の利便性の向上と業務の効率化を進めるため、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進の一環として、現在、「アナログ規制の見直し」について取り組んでいるところでございます。

「アナログ規制」とは、行政手続きにおいて「書面の提出」や「対面での手続き」などを前提とするもので、これらの規制にはデジタル化の妨げとなる側面があると言われております。

このような背景を踏まえ、現在、デジタル庁の支援を受け、アナログ規制の点検・見直しを進めており、去る11月17日にデジタル庁の担当職員から具体的な見直し作業の進め方等について説明を

受けたところでございます。

今後は、市民の皆様の利便性向上と業務の効率化の観点から各規制の見直しを進め、次年度以降の実施に向けて、精度を高めて参りたいと考えています。

次に、「窓口番号案内表示システムの導入」について、申し上げます。

市役所市民生活課の窓口は、各種届出に加え、戸籍や住民票の発行、各種相談業務など、市民の皆様にとって重要な行政サービスを提供する場所ですが、混雑時には、自分の受付の順番がわからないなど、ご不便をおかけしている現状がございます。

このような状況を改善し、市民サービスの向上を図るため、市民生活課窓口において「番号案内表示システム」を今月の下旬より、新たに導入いたします。

本システムの導入により、市民生活課へ来られた方はまず最初に自動発券機から番号札を受け取っていただき、番号案内表示板に表示された自分の順番が確認できることとなります。

これにより、混雑の緩和や待ち時間によるストレスの軽減を図るとともに、窓口業務の円滑化と効率的かつ質の高いサービスの提供へと繋げて参ります。

さらに、本システムは、番号案内表示に行政情報に加え、有料広告を流す仕組みを採用し、情報伝達の強化と、管理コストのかからない事業展開という双方のメリットを確保しております。

市民の皆様にとって、快適な窓口環境を実現することは、行政の責務であり、引き続き、市民サービスの向上に鋭意取り組んで参ります。

次に「新ごみ処理施設 吉野川市環境センターの竣工」について申し上げます。

平成30年、本市における燃やせるごみ処理について、一部事務組合による「広域処理」から、本市単独により処理する方針を決定し、これまでの間、周辺にお住まいの皆様のご協力をいただきなが

ら、新ごみ処理施設の建設を進めて参りました。

本年8月から約3ヶ月の間、試運転を実施しながら、施設の性能や環境面への影響などの確認を行った結果、処理能力や排ガス基準など全ての項目において性能を満たしていること、また、環境面についても影響がないことが確認出来たため、去る10月31日に受託者から引き渡しを受け、翌日、落成式を執り行うことが出来ました。

この場をお借りし、周辺にお住まいの皆様方のご理解・ご協力に、心より感謝申し上げます。

現在、正式稼働してから1ヶ月経過いたしました。施設は順調に稼働しており、今後につきましても、運営委託しております民間事業者と連携し、安心・安全で安定的なごみ処理の実現と、市民の皆様にご信頼される施設運営を目指して参りますので、周辺地域にお住まいの皆様には、これまで同様に、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この新ごみ処理施設の建設を契機とし、環境への負荷やごみ処理費用の削減を目指した取り組みを市全体で推進するとともに、市民の皆様が日々の暮らしの中でごみの減量化やリサイクル活動に取り組めるよう、共に歩んで参りたいと考えております。

次に、「水道事業ビジョン及び水道事業経営戦略の見直し」についてご説明申し上げます。

本市の水道事業についてはこれまで「吉野川市水道事業ビジョン」及び「吉野川市水道事業経営戦略」を策定し、持続可能な経営を実現するため、事業の効率化や健全化に努めて参りました。

しかしながら、公営企業を取り巻く環境は、今後の急速な人口減少や、保有する施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、年々厳しさを増しており、これまで以上に効率的な取り組みが求められています。

このような状況を踏まえ、上下水道事業の更なる経営健全化を図るため、有識者による「吉野川市上下水道事業経営審議会」を昨年設置し、経営状況を分析・検証を行い、今後における水道サービスを安定的かつ持続的に提供するため、料金改定を含む来年度からの「水道事業ビジョン及び経営戦略」の改訂作業を進めているところでございます。

今後におきましては、パブリックコメントの実施を踏まえて、中長期的な視点に立った経営を行い、経営の効率化、健全化に取り組んで参りますので、議員各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

**次に、今定例会に提出いたしております案件につきまして、お手元の一覧表に沿って、ご説明申し上げます。**

**まず、報第14号から報第16号につきましては「報告案件」でございます。**

市の業務における和解、損害賠償の額の決定等に係る専決処分  
の報告です。

概要等につきましては、議案書の専決処分書をご高覧ください。

**次に、議第77号から議第81号までは「条例関係議案」でございます。**

**まず、議第77号「吉野川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定」から（議第80号）「吉野川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定」につきましては**

市が基準を定めるに当たり従うべき基準等を定めた府省令が改正されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

**次に、議第81号「吉野川市立学校設置条例の一部を改正する条例制定」につきましては**

鴨島東中学校及び鴨島第一中学校の統合後における新たな学校の名称及び位置を定める改正を行うものです。

**次に、議第82号から議第84号までは「補正予算関係議案」でございます。**

**まず、議第82号「一般会計補正予算（第3号）」につきましては**

- ・産学官の連携のもと、地域の人材・資源・資金を活用した新たな地域密着型の事業を実施しようとする民間事業者等に対し、事業化に必要な初期投資費用の一部を国費を活用して支援する「地域経済循環創造事業」

1, 4 2 5 万 8 千円

- ・教育振興に係る寄附金を原資に、山瀬小学校で使用するプロジェクター等の備品を購入する「小学校備品購入事業」

6 5 万 8 千円

- ・地方債の繰上償還に係る費用

1 億 7, 3 7 4 万 8 千円

など、合わせて、**4 億 2 3 0 万 4 千円**を追加し、  
補正後の予算総額を、**2 3 1 億 6, 1 6 1 万 5 千円**とするものです。

次に、議第 8 3 号「国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）」  
につきましては

職員人件費の調整及び医療給付費等の調整などにより、  
**1, 9 3 0 万 4 千円**を追加し、  
補正後の予算総額を**4 5 億 5 1 3 万 3 千円**とするものです。

次に、議第 8 4 号「介護保険特別会計補正予算（第 2 号）」につ  
きましては、

システム改修費用のほか、保険給付費の組み替えなどにより、  
**3 0 6 万 9 千円**を追加し、  
補正後の予算総額を**6 1 億 4, 5 3 7 万 6 千円**とするものです。

次に、議第 8 5 号「吉野川市庁舎非常用発電設備等更新及び防災  
倉庫棟増築工事のうち電気設備工事(担い手確保型)請負契約の締結」  
につきましては、

先の議会において予算の承認をいただいた庁舎電源設備及び防災  
倉庫棟整備事業の電気設備工事に係る契約について

- ・ 契約金額 4億870万5千円
- ・ 契約の相手方 三笠電機株式会社  
とすることについて、議会の議決を求めるものです。

**次に、議第86号から議第94号までは「指定管理者の指定案件」  
でございます。**

対象施設、指定する団体や期間につきましては、議案書記載のとおりとなっておりますのでご高覧ください。

**最後に、議第95号「教育委員会委員の任命」につきましては**

本年12月23日をもって、<sup>くわはら なおみ</sup> 栗原 奈麻美 委員の任期が満了することに伴い、新たに <sup>な おみ</sup> 栗洲 直美 氏を任命したため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めるものです。

以上、ご説明を申し上げましたが、十分ご審議の上、原案どおり、ご賛同くださいますよう、よろしく願いいたします。